

授業科目 認知症ケア特論	科目概要・形式 2単位 30時間 (15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 前期開講	オンライン参加 可
科目責任者	出貝 裕子		
科目担当者	出貝 裕子, 工藤 英明, 花田 麻由美, 大塚 眞真理子(非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 老年医療学特論等で学修した認知症に関する最新の診断・治療及び施策の学修を基盤に、認知症高齢者がもつ能力を発揮しその人らしい生活を保障するとともに、認知症高齢者個々の生き方を尊重し尊厳ある長期療養を可能にする、専門的な看護実践能力および多機関と連携する力を養う。また、認知症高齢者の介護家族の苦悩を理解し、介護を通じて成長するプロセスに寄り添った介護家族支援能力を養う。			
到達目標 [1]様々な認知症の診断法や治療法に関する変遷と最新の診断法と治療法を説明できる。 [2]認知症患者に発症する BPSD について、その背景にあるニーズ充足のための看護方法論、看護マネジメント方法論を説明できる。 [3]認知症の進行を見据えた本人が望む長期療養継続に向けたサポート体制を組織化し、専門職連携実践とチームを活性化する調整方法を考察し表現できる。 [4]認知症高齢者の介護家族の苦悩を理解し、家族支援方法を説明できる。 [5]地域で暮らす認知症高齢者に対する地域サポートについて理解し、これらの機関間連携をコーディネートする方法を考察し表現できる。			
2. 授業計画・内容			
回	授業内容	担当者	
1	認知症の原因疾患別に見た特徴, 認知機能評価, 一般的経過と非薬物療法	出貝	
2	認知機能障害による症状のアセスメントと支援方法①記憶障害, 見当識障害	出貝	
3	認知機能障害による症状のアセスメントと支援方法②失行, 失認, 実行機能障害	出貝	
4	認知機能障害による症状のアセスメントと支援方法③BPSD	出貝	
5	認知症高齢者へのパーソンセンタードケアの理論と実践への応用	出貝	
6	認知症高齢者の生活機能のアセスメントと持てる力を活かす支援①コミュニケーション	出貝・花田	
7	認知症高齢者の生活機能のアセスメントと持てる力を活かす支援②環境調整・生活リズムを整える支援	出貝・花田	
8	認知症高齢者の生活機能のアセスメントと持てる力を活かす支援③豊かな食生活への支援	出貝・花田	
9	認知症高齢者の生活機能のアセスメントと持てる力を活かす支援④尊厳ある排泄・清潔への支援	出貝・花田	
10	急性期治療を受ける認知症高齢者のケアマネジメント①認知症高齢者の尊厳を保持したリスクマネジメントと機能低下を防止する看護	出貝	
11	急性期治療を受ける認知症高齢者のケアマネジメント②倫理的課題	出貝・花田	
12	認知症高齢者・家族の権利擁護, 意思決定支援, 代理意思決定上の課題及び支援 (ロールプレイ演習)	工藤	
13	認知症高齢者・家族を支援する組織・体制及び看護マネジメント① 認知症高齢者の介護家族のアセスメントとケアマネジメント	大塚	
14	認知症高齢者・家族を支援する組織・体制及び看護マネジメント②多様な組織(介護施設, 地域ケア会議, 家族の会, 地域住民による支え合い等)をつなぐ調整	大塚	

15	認知症の経過に応じて必要なサポート体制の組織化、専門職連携実践の事例展開	大塚・ 出貝
<p>3. 教科書・参考書 (教科書) 日本老年看護学会編：認知症看護スタンダード，照林社，2025. 中島健二他：認知症ハンドブック第2版，医学書院，2020. (参考書) 中島紀恵子：ケアの論理 認知症ケアの学び返しの旅から，クオリティケア，2021. トム・キットウッド：認知症のパーソンセンタードケア 新しいケアの文化へ，筒井書房，2005. 鈴木みずえ：急性期病院でのステップアップ認知症看護，日本看護協会出版会，2016.</p>		
<p>4. 成績評価方法 プレゼンテーション及び討議への参加状況（40%），課題レポート（60%）で総合的に評価する.</p>		
<p>5. 受講要件 なし</p>		
<p>6. 社会人学生に対する配慮 必要に応じて夜間・土曜日開講，オンライン参加（ライブ）可能</p>		